

南山城村むらづくりビジョン（案）に係るパブリックコメント実施結果について

1. 募集期間 令和8年3月4日から令和8年3月17日
2. 意見募集の結果
 - ・意見提出者数 1名
 - ・意見件数 1件
3. 詳細

【意見概要】

P16「基本目標3 地元の資源を活かすむらづくり」

南山城村は茶業や小規模農業をはじめとする一次産業が地域の暮らしと経済を支えており、道の駅や直売所はその流通と交流の拠点として重要な役割を果たしています。

今回のビジョンでは交流や地域づくりの方向性が示されていますが、村の基盤となる産業を支える「地域資源の循環」という視点については、やや抽象的である印象を受けました。

人口減少や担い手不足が進む中で、農業の生産基盤が弱まれば、直売や交流を中心とした地域経済も縮小していく可能性があります。反対に、地域内で発生する農業副産物や食品残渣などを資源として循環させ、農業の生産力を支える仕組みを整えることができれば、農業・直売・交流が相互に支え合う持続的な経済圏を維持することが可能になります。

南山城村の特徴をいかすこと、地域資源の循環によって一次産業の基盤を強化すること、地域の持続可能性を高めること、これらがむらづくりビジョンの視点として重要であると考えます。

【村の回答】

ご指摘のとおり、本村の経済を支える一次産業と、その拠点である「道の駅・直売所」の重要性は極めて高く、これらの基盤を強化することや、環境に配慮した地域資源の活用など、循環型社会を形成することは、持続可能なむらづくりを推進する上で不可欠な要素であると認識しております。いただいたご意見につきましては、今後、具体的な施策・取組を推進する上での参考とさせていただきます。